

# 現代教師の抱える問題とは

## 探究29班

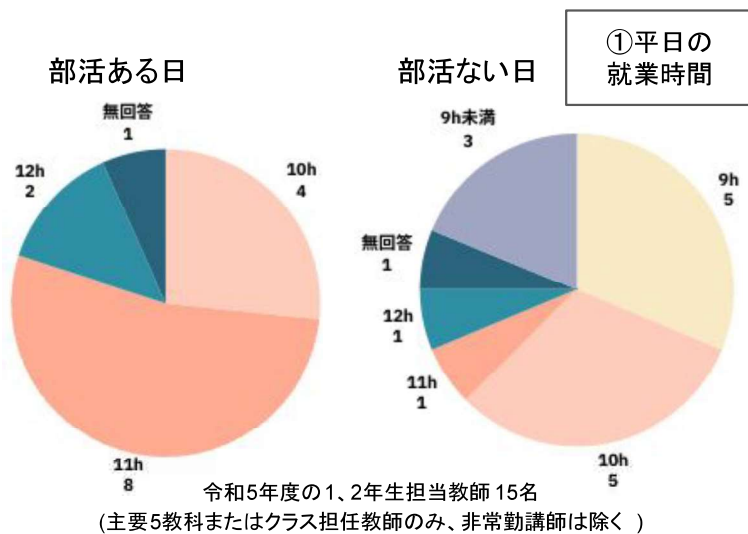
### この探究内容にした理由

三高にて日々の授業を受ける中で、教師陣の多忙や、労働量の多さを感じる機会が多々あり、教師の労働と多くの課題に対して興味を持った

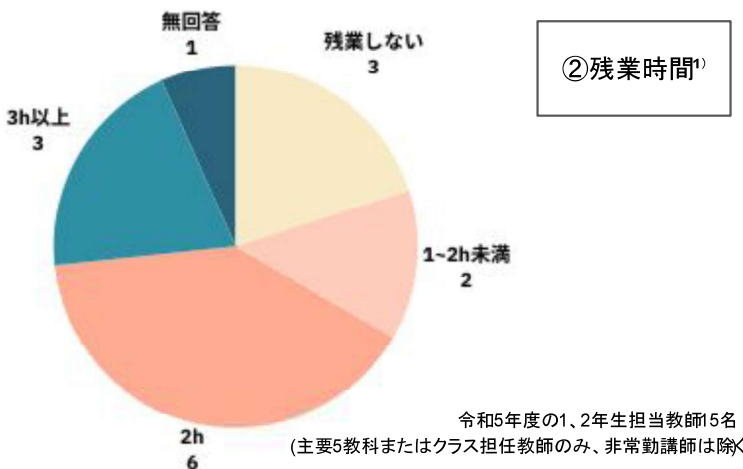


- ①三高をモデルに教師の問題について課題点を見つけ、少しでも改善するための提案が出来ないか
- ②生徒に教師の現状を知ってもらいたい

### アンケート結果



部活がある日 平均 11時間 最頻値 11時間  
部活がない日 平均 9時間 最頻値 9,10時間



平均 1時間7分(1.12時間) 最頻値 2時間

1)アンケートには自宅での残業時間と記載

### 教員の労働実態

	通常	教員
就労時間	8時間 (週40時間)	12時間 (週67時間)
残業代	最低25%	なし (月給+4%)

月の時間外労働123時間超  
※過労死ラインは月の時間外労働80時間  
月給4%を増幅(給特法)⇒残業代が出ない

### 対策(働き方改革)

【チーム担任制とは】  
複数のクラスに対してそのクラス数以上の教師がローテーションで担任を行う(2クラスに対し3人など)

メリット:生徒が多くの教師と触れ合うことができる。教える教科を分担することにより、業務量が減る。保護者など外部からの連絡に直ぐに対応できる。

デメリット:相談先がわからない。責任の所在がわからない。教員間のスムーズな連携がないと成り立たない。

【教員業務支援員の増加計画】  
教員業務支援員:教員の行う事務作業をサポートする。特別な資格不要。地域の人材が担うことが多い。

文部科学省は去年8月、教員業務支援員の2倍以上の拡充を目指し、今年度の予算案に盛り込む方針を固めた

### 教員へのアンケートに基づく改善案

#### 【教員業務の分散化】

- ・生徒間で管理する物事を増やす  
ex: 部活動のスケジュール管理。朝・帰りの会
- ・事務作業(掃除、プリンタの設定やPC関連、お知らせの印刷、交通指導)を行う人員を雇う
- ・部活動顧問の外部委託

#### 【外部機関からの意見】

「教員の仕事は、どこまでが業務とすれば良いのか線引がしにくいところがある」  
→線引きを明確にする。または、労働とみなす範囲を拡大する。  
いずれにしても、不明瞭で評価の成されにくい部分に光を当てる。

### 参考文献

- ・文部科学省 (<https://www.mext.go.jp/kaigisiryoo/content/000235785.pdf>)
- ・教育支援研究開発センター CERADES(<https://www.kyoto-su.ac.jp/about/cerades/kyouikukai.html>)